

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2019年度(令和元年度) 事業報告書



2019年度のみんつくは、設立から8期目（公益6期目）となり、「2020年以降をみすえ、事業の見直しと体制を強化する」を事業方針にかけ、「『そだてる』機能の強化」、「みんなでつくる機能『つなぐ』力の強化と事務局強化」という2つの柱を掲げ、9日の日のイベント（+1セミナー、Share会議、ツクる日）を毎月の取組にもどすなど、ももたろう基金など非常時のコミュ財のあり方を考えるとともに、平時のインフラとしてみんなでつくるを活用しやすい体制整備をすすめました。

緊急時の取組については、2018年度に設置した災害支援基金「ももたろう基金」の取り組みが、そのスピード感と多様性を評価され、第10回ファンドレイジング大賞を受賞（日本ファンドレイジング協会主催）し、地域におけるコミュニティ財団の可能性をしめすこともできました。また、2019年9月に発生した新見豪雨災害への対応については、一部地域への災害の影響の長期化を懸念して、地域活性化を目的に「にいみ復興基金」を設置するなど災害や地域の特性にあわせた支援のありかたを考え、取り組みをすすめました。

また、みんなの基本機能「つなぐ・つたえる・Shareをする」を強めるために、県内の助成団体等と「みんなの活動」助成団体連絡会を設立し、自団体だけの取組でなく、県内で連携してつなぐ機能の強化につとめました。

2019年度終盤には新型コロナウイルスへの対応についても検討するなど、ここ数年で災害や緊急時への対応が増加しており、2020年度には緊急時の取組や体制について整備をすすめるとともに、地域のコミュニティ財団としてインフラ機能をより強化していくため、中長期計画の策定を進め、一人一人が意志を持って寄付や社会的投資ができる環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

2019年度の主な取組（ニュース）

- ももたろう基金の取組で「第10回日本ファンドレイジング大賞」受賞
- 新見の豪雨災害対応として地域活性化基金「にいみ復興基金」の設置
- 「みんなの活動」助成団体連絡会設立、情報交換会・合同説明会の実施
- 福祉人財育成基金奨学金助成初の卒業生の誕生



■ 運営に関する事項

2019年度は、ももたろう基金をはじめ、基金運営や助成事業などみんつくの基本的な事業体制の見直しをするとともに事務の改善に取り組みました。

体制としては、有給理事(事業担当)1名、無給理事(総務担当※事務局長職兼務)1名、事務スタッフ3名(常勤1名、パート2名)に加えて、長期インターン生、継続ボランティアのスタッフにより、組織運営を行いました。

また、セミナー運営やイベント運営には、大学生やボランティアスタッフが多数かかわってくれました。

○評議員会 (総評議員数5名)

開催日	出席	決議事項
R1.6.24 (中国学園大学)	評議員3名 理 事 1名	・2018年度事業・決算報告 ・2019年度事業計画 ・事務所を勤務地とする理事の選任

○理事会 (総理事数6名、監事2名)

回数	開催日	出席	決議事項
1	R1.6.9 (みんつく事務所)	理事6名 監事2名	・2018年度事業・決算報告 ・2019定期評議員会の開催 ・ももたろう基金について
2	R1.9.1 (みんつく事務所)	理事6名 監事1名	・ももたろう基金について ・2019年度冠基金、社会変革基金助成 ・2020年度事業執行方針について
3	R1.12.1 (みんつく事務所)	理事4名 監事1名	・2019年度冠基金助成について ・ろうきん寄付システムの助成について ・2020年度事業計画について ・ももたろう基金について ・にいみ復興基金について
4	R2.3.15 (みんつく事務所) ※オンライン	理事6名 監事1名	・2020年度事業計画について ・2020年度執行体制について ・ももたろう基金助成について ・2019年度冠基金助成について ・2019年度福祉人材育成奨学金助成について



■ 事業報告

○ 「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2019年度は、二度の募集を行いましたが、上半期は採択なしとなり、寄付募集は下半期に1団体のみ実施しました。

団体数が少なかったこともあり、団体の支援体制の強化をテーマとして、研修に大学生等若者に参加してもらいアイデアだしをしたり、ソーシャルライターによる情報発信を実施したりしました。

【次年度への課題】

クラウドファンディングサービスが増えてきたこともあり、今後の事業のあり方について検討するとともに、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者を養成します。

■ 割り勘各期の詳細については、下記の通り。

事業名	a. 助成金額 ※()内は助成目標額	b. 寄付総額 ※()内は寄付目標額	c. 達成率	のべ 寄付 者数
障がい児の保護者支援書籍出版プロジェクト 【ペアレントサポート・すべて】	1,270,000 (850,000)	1,493,500 (1,000,000)	149%	206人

事業の様子



○「みんなの貯金箱をもとう！」冠基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2019年度は、冠基金4基金5テーマ（1基金のみ2テーマ）、社会変革基金1テーマ（にいみ復興基金、※ももたろう基金については別募集）について募集し、うち5テーマにおいて11団体、4名の合計15事業の助成を行いました。

（にいみ復興基金については、通常募集以外に11月募集12月採択決定の2回募集を実施）

「みんなの活動」助成団体連絡会との連携などにより申請数を大きく増やすことができました。しかし、障がい（高齢者）をテーマとした「山本基金」には申請はあるものの採択団体がなく、基金の目的と申請事業へのミスマッチがあり、今度の助成実施にむけての課題となりました。

また、社会変革基金については、2019年度は新見の豪雨災害をうけて、にいみ復興基金を新設するとともに助成を実施しました。ももたろう基金とは目的の違う災害支援基金（地域振興の意味合いを強くした）であり、コミュニティ財団としてニーズの把握とそれに対する助成実施の新たな取り組みとなりました。2018年度に新設した平成30年度西日本豪雨災害の支援基金「ももたろう基金」についても継続して寄付募集を行うとともに助成実施を行いました。

ただし、2019年度も、「地域助け合い基金」「みんつく子ども基金」の2つの社会変革基金についてはともに大きな寄付の増加がなかったため、助成実施は行えませんでした。

その他、事務局をつとめる「ろうきん寄付システム」は2団体への分配を実施しました。

【次年度への課題】

社会変革基金の2テーマ「地域助け合い基金」「みんつく子ども基金」は原資となる寄付募集がすすまず、助成実施できませんでした、基金のあり方を改めて考えるとともに常時寄付受付のしやすい情報発信をしていきます。

また、山本基金は2019年度から本格運用を開始し、個別の情報発信・相談を実施しましたが、採択団体がなく、福祉分野の関係団体への情報発信の強化や事業連携の強化につとめていきます。



【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	助成団体名	助成金額
子ども (貧困・ 育ちの環 境)	福武純子	J 基金	特定非営利活動法人才オリ ーブの家	100,000
			NPO 法人 エブリィハート	100,000
			一般社団法人 チカク	500,000
まち・む ら	匿名 (岡山 NPO センターOB)	くらし “き” にな る基金	遊美工房	100,000
子ども福 祉	匿名希望	福祉人財育 成基金	一般社団法人 子どもの 家運営委員会	200,000
			はばたけ未来の私	250,000
障がい	匿名希望	福祉人財育 成基金 奨学 金助成	継続助成 3名	3,000,000
			新規助成 1名	
社会変革 基金 (災 害復興・ 地域振興	みんつく (社会変革基金)	にいみ復興 基金	NPO かけはし	100,000
			子どもと大人のにいみ雑 まつり実行委員会	100,000

(以下の 3 事業は 11 月募集 12 月採択)

社会変革 基金 (災 害復興・ 地域振興	みんつく (社会変革基金)	にいみ復興 基金	災害支援ネットワーク NPO かけはし	100,000
			新見写真洗浄会	100,000
			いのりんジャパン	100,000

事業の様子 (にいみ復興基金)



災害支援ネットワーク NPO かけはし



新見写真洗浄会



いのりんジャパン

○災害支援基金 「ももたろう基金」

～ 「第10回ファンドレイジング大賞の受賞」 ～

2018年度に設置した「ももたろう基金」について、2019年度も継続して寄付募集を行うとともに、助成実施（第9次～12次）を実施しました。特に真備地域のコミュニティ再生にかかる事業への助成が多くありました。また、単に助成を行うだけでなく、災害支援を通じて設立した団体やグループの経営相談の強化をはかり、法人化や継続して事業実施していくための支援を行いました。

さらに、災害発生初期に多様な事業へスピード感を持って助成したことが評価され、2019年9月に開催された日本ファンドレイジング協会主催の「第10回ファンドレイジング大賞」を受賞いたしました。

【次年度への課題】

2020年度途中まで寄付募集を行うとともに、助成を実施します。最終年度にむけて、今後の災害支援の在り方を検討していきます。

助成事業一覧

※第1次～第8次は2018年度中に助成。

	募集時期	助成プロジェクト数	助成金額 (総額)
第1次助成	2018年7月8日～7月17日	2	650,000
第2次助成	7月18日～7月31日	15	4,311,000
第3次助成	8月1日～8月31日	8	7,804,000
第4次助成	8月1日～8月27日	9	10,188,000
第5次助成	9月19日～10月31日	4	690,000
第6次助成	9月19日～10月31日	8	3,324,287
第7次助成	12月10日～3月31日	3	500,000
第8次助成	12月10日～2月7日	7	2,750,000
第9次助成	2019年6月10日～2019年8月30日	4	3,210,000
第10次助成	9月2日～10月31日	7	1,910,000
第11次助成	7月2日～7月25日	5	1,375,680
第12次助成	12月25日～2月21日	5	2,300,000
合計助成金額			39,012,967



【ももたろう基金のスキーム】



2019 年度はインターネットだけでなく、セミナーや交流会、報告の機会を増やして取り組みました。

事業の様子



第 10 次助成 ドローンフェスティバル



第 10 次助成 真備写真洗浄あらいぐま



第 9 次助成 お互いさまセンターまび



第 10 回ファンドレイジング大賞 授賞式

○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2019年度は、地域円卓会議は実施いたしませんでした。
ただ、ツクる日の事業などで助成団体との交流や意見交換を行う機会を多く設け、特に「ももたろう基金」や災害支援について考える機会を多くもちました。

○情 報 発 信

2019年度は、ももたろう基金をはじめとする社会変革基金や冠基金助成の発信を強化して取り組みました。

特にももたろう基金については、第10回ファンドレイジング大賞を受賞したことにより、情報発信する機会がふえるとともに、助成先の団体もメディアに取り上げられることが多数ありました。

また、助成事業の情報発信強化については、「みんなの活動」助成団体連絡会で連携し、自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していき、自主開催での合同説明会を1度、他団体との事業と連携した合同説明会を3度実施しました。

○ノウハウ移転事業

2019年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、新設の法人へのノウハウ移転を中心に行いました。DV被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の公益法人を目指した取り組みの支援や全国各地のコミュニティ財団の設立支援を行いました。その他、百間川水と緑基金などの審査員を理事がつとめました。

(ノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 <ul style="list-style-type: none">・市民団体支援、モデル事業支援・補助金運営支援・職員研修
(一財) サンフラワー基金	<ul style="list-style-type: none">・公益法人運営について・助成事業の設計について
全国コミュニティ財団協会	新設団体の支援（雲南市） プログラムオフィサー研修



○セミナー

9日開催の+1セミナーは、2019年度は原則毎月開催にもどしました。研修のターゲット設定をし、参加希望者の状況をみて、9日に固定せず、毎月9日頃の開催としました。

(+1セミナー) 開催:毎月9日頃

月	(+1セミナー) 開催:毎月"9"日頃	開催場所
4月	寄付者コミュニケーション	みんつく 事務所
5月	クラウドファンディングはじめの一歩 (第13期割り勘説明会)	みんつく 事務所
6月	割り勘ワークブックを使って、ソーシャルセクターの資金調達計画をたてます！	きらめきプラザ 702 小会議室
7月	平成30年7月豪雨災害における支援1年民間合同報告会 (主催:災害支援ネットワークおかやま)	ハッシュタグ (北長瀬ブランチ)
8月	クラウドファンディングについて	岡山県生涯学習センター
9月	クラウドファンディングを学ぼう！@倉敷	倉敷市市民活動センター 第1会議室
10月	第10回ファンドレイジング大賞受賞！「ももたろう基金」を知ろう！@倉敷	真如苑(倉敷市)
11月	福武教育文化振興財団～教育文化活動助成成果報告会・全体交流会～	プラザホテル(岡山市)
12月	ソーシャルライター講座	認定NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ 新事務所
1月	「ももたろう基金」と「冠基金」に関する相談セミナー	まびシェア
2月	『助成財団フォーラム』にて、事例発表 (ももたろう基金と助成事業のアウトリーチについて)	東京都
3月	新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催中止	



○Share 会議

19日開催の share 会議も 2019 年度は、原則毎年開催にもどしました。特に NPO 団体の経営に関する相談を積極的に考える機会にするよう取り組みました。

(Share 会議) 開催 : 毎月 19 日頃

月	内容	発表者	場所
4月	ダウン症の家族会を知ろう	JDS 日本ダウン症協会 岡山支部:定藤さん	みんつく事務所
5月	ひまわりチャリティー講演 「エネルギー事業について」	※参加者として 職員派遣	両備ビル2階 (岡山)
6月	第13期割り勘事業審査会「一般社団法人ウルフィン」プレゼン	一般社団法人ウルフィン:中西さん	みんつく事務所
7月	ももたろう基金個別相談会@まびシェア	各団体各団体 (経営相談・意見交換)	まびシェア
8月	「福祉人材育成奨学生」の奨学生との交流会	奨学生 2名	ゆうあいセンター大会議室3
9月	「みんなの活動」官民合同資金調達ミニセミナー&相談会	「みんなの活動」 助成団体連絡会	きらめきプラザ 2F 大会議室
10月	備中県民局 官民合同の助成金・補助金・融資に関するミニセミナーと個別相談会を実施	「みんなの活動」 助成団体連絡会	備中県民局
11月	第14期割り勘事業審査会「認定NPO法人ペアレント・サポートすべてっぷ」プレゼン	認定NPO法人ペアレント・サポートすべてっぷ	みんつく事務所
12月	「発達障害支援への取り組み」について 知り、考えよう	特定非営利活動法人 日本メディカルダイエット支援機構 小林さん	SGSG (岡山市)
1月	組織運営について～ペアレント・サポートすべてっぷのケースを参考に～	認定NPO法人ペアレント・サポートすべてっぷ 安藤さん	すべてっぷ 新事務所 (倉敷市)
2月	「おひさま基金」について、考える	認定NPO法人ハーモニーネット未来	笠岡市
3月	新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催中止		



○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけにうまれた助成団体連絡会を「みんなの活動」助成団体連絡会として正式に立上げ、情報発信のあり方や、助成について意見交換を実施し、合同説明会に活かしました。

また、就実大学からの長期インターン生を中心に若者や大学生の情報収取・SNSの利用状況を調査し、ボランティアネットワーク構築の参考としました。

(研究会等への参加)

月	研修会・会議名	内容
5月	「みん活」助成団体連絡会 第一回	地域活動(NPO活動)=みんなの活動(以下みん活)の2019年度の方針確認
8月	「みん活」助成団体連絡会 第二回	9月の合同セミナー&相談会についての打ち合わせ
2月	「みん活」助成団体連絡会 第三回	みん活の2019年度の振り返りと次年度の確認

事業の様子 (「みん活」助成団体連絡会)



「みん活」助成団体連絡会 第一回



「みん活」助成団体連絡会 第三回



「みん活」合同説明会



「みん活」合同説明会

○そ の 他 (寄付文化創造)

毎月 29 日の「ツクる日」では、原点にもどり、団体との交流機会を増やすとともに寄付のきっかけ提供に取り組みました。

(毎月 29 日頃開催)

月	内容	開催場所
4月	みんつく交流会・相談会サロン	みんつく 事務所
5月	勝手に乾杯チャリティー	磯の家(倉敷市)
6月	ひまわりチャリティーコンサート (DV 被害者自立支援への寄付)	ルネスホール(岡山市) (主催:ひまわりチャリティー)
7月	ぬいぐるみプロジェクト ~ぬいぐるみ を使ったストレスケアワークショップ~	FLCB(総社市)
8月	勝手に乾杯チャリティー(FM くらしき 感謝祭 ビールで乾杯)	倉敷アイビースクエア
9月	みんつく 7 周年記念交流会 「みんつくの今までとこれから」	ハッシュタグ(岡山市)
10月	ソーシャルライター交流	ゆうあいセンター2階 大会議室分室 1
11月	学生ネットワーク構築プロジェクト	ゆうあいセンター2階 大会議室分室 3
12月	寄付つきカクテル(寄付月間イベント)	バーコントワール(岡山市)
1月	ペアレント・サポートすてっぷ チャリテ イ交流会	すてっぷ新事務所(倉敷市)
2月	新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催中止	
3月	みんつくフォーラム	新型コロナウイルスの影響を考慮し、開 催中止(助成式のみ移動開催)

事業の様子 (ツクる日)



4月 みんつく交流会・相談会サロン



5月 勝手に乾杯チャリティー

事業の様子



7月 奨学生交流会

9月 7周年交流会



12月 ソーシャルライター講座@倉敷



1月 相談会@まびシェア

2019年度も

ありがとうございました！

